482 頭頸部癌動注療法時の薬剤の分布状態と注入速度についての核医学的検討

目澤良憲，武藤二郎（埼玉医大耳鼻科）
宮前達也，伊勢谷　修（埼玉医大放射線科）

頭頸部癌の治療法として動注化学療法が行なわれているが，その際の薬剤の分布状態と適切な注入速度を知ることは非常に重要である。

そこで，我々は以前より動注カテーテルよりTc−99*m*−ＭＡＡを注入して，薬剤の分布状態を観察し，目的とする部位に薬剤を送り込むための至適注入速度の検討を行なってきたので，その結果を報告する。

Presented by Medical*Online